15. Tc-99m MDP の肺癌集積症例についての検討
——SPECT の有用性について——

油井　信春　戸川　貴史　木下富士美
小圷　正木　秋山　芳久　(千葉がんセ・核)
関谷　雄一　(君津中央病院・放)

1984年11月より1985年12月までの14か月間に骨転移の検索を目的として骨シンチグラフィを施行した原発性肺癌患者58例で，9例において原発巣への Tc-99m MDP の集積を見た．腺癌6例，扁平上皮癌1例，小細胞癌2例である．その診断と肋骨への集積との鑑別に SPECT が有用であった．原発巣への集積9例中4例は照射中または照射後であり，そのうち2例は腫瘍よりも線維化，空洞化が主たる所見であった．集積の機序について若干の検討を行ったが多元的な因子によるものと思われ，必ずしも腫瘍との親和性を示唆する結果は得られなかった．

16. ^{99m}Tc-MDP の骨外集積像
——消化管出血の4症例——

小野　慈　猪狩　秀則　中村　豊
伊勢　俊秀　(神奈川がんセ・核)
松井　謙吾　(横浜市大・放)

骨シンチ施行時に，消化管出血が見いだされた症例を4例報告した．

症例1：44歳男性，肝硬変およびヘパトーマ，骨シンチでは腹部中央から右側腹部にかけて不定形の MDP 貯留をみる．小腸と思われる形をしている．20日後死亡剖検するも出血病巣特定できず．

症例2：57歳女性，子宮頸癌 IIb 期放射線治療1年後．胃の形に MDP 集積．内視鏡にて胃エロジオン，十二指腸ポリープ2ケ．

症例3：34歳，急性骨髄性白血病，化学療法後，骨シンチでは胃の形に MDP の集積．内視鏡，出血巣同定できず．

症例4：75歳，胃癌術後15日．残胃と上部小腸の形に集積．便潜血卅．

鑑別診断，文献的考察を加えた．

17. 移植脾における肝シンチグラムの応用

長瀬　勝也　(順天堂大・放)
大谷　俊樹　下村　洋　宮野　武
(同・小児外)

手術により摘出した脾を大網内に移植した脾機能亢進症症例9例について報告する．

9例の原疾患は，

特発性血小板減少性紫斑病……7例
門脈圧亢進症……1例
Gaucher 病 ……1例

である．

最初に脾移植を実施せる症例は3年を経過している．

方法は ^{99m}TC-スズコロイドを使用し移植片の描出を試みたが全症例で現在まで移植片に RI が摂取された．

長期に観察しえた二症例のシンチグラムを供覧した．

18. 腹部外傷に対する脾シンチグラフィーの応用

池田　俊昭　石井　勝己　大内　寛
堀池　重治　中沢　圭治　高松　俊道
小松　継雄　依田　一重　松林　隆
(北里大・放)

救急医療が普及した現在腹部外傷に伴う腹部臓器損傷の程度を知るのに非侵襲的検査である検医学検査の利用が高まってきている．そのうち脾損傷の有無に対する脾シンチグラフィーの有用性について検討したので報告する．使用放射性医薬品は熱処理標識赤血球を用いた．検査対象は，腹部外傷による脾損傷20例であり，脾損傷の有無の診断5例，保存的療法の経過観察2例，脾損傷部縫合術後の経過観察5例，脾亜全摘後の経過観察3例，脾全摘後の副脾経過観察2例，脾全摘後脾移植後の経過観察3例である．いずれの症例でも脾シンチグラフィーは脾の状態を的確にとらえ診断および経過観察上有用であり今後救急核医学の一翼をになうものと思われた．

Presented by Medical*Online